

健康いきいき職場づくり 参加型ワークショッププログラム

健康いきいき職場づくりフォーラム

ご案内

- メンタルヘルスの一次予防の新しい取組として、また個人と組織の活性化の手法として、「健康いきいき職場づくり」が注目されています。健康いきいき職場づくりとは、組織内にある「社会的心理的資源（信頼、支援、公正、など）」を増やすことによって、個人の健康と、個人のいきいき、そして職場のいきいき（一体感）を高める活動です。この活動により、組織の生産性向上や、働く個人の幸福感の向上を目指しています。
- 「健康いきいき職場づくり」を進める具体的かつ効果的な手法が、「参加型ワークショップ」を各職場単位で開催することです。これにより、自分たちの職場の資源を自分たちのアイデアで増やし、いきいき職場に近づけることが期待できます。
- 「健康いきいき職場づくり」に取り組みたい組織の皆さまにぜひ実践していただきたく、このワークショップ実施を全面的にサポートするプログラムをご紹介します。

プログラムの全体像

フォーラムが提供する必須プログラム

管理職説明会 (マネジメント研修)

この活動の成否は、職場の管理職の適切な支援の上で実行できるかどうかが鍵です

参加型ワークショップ(WS)

職場のメンバー全員で「いきいき職場づくり」について学習する
↓
グループの中で職場をいきいきさせるためのプランを検討する
↓
職場メンバー全員で具体的なアクションプランにまとめる
↓
管理職が実施するアクションプランを決定する
↓
実施する担当者を決めて活動を展開する
↓
中間報告または活動報告を実施し次のプランに結びつける

職場単位で実施

Plan

●定量調査

Do

●管理職説明会
●参加型ワークショップ(WS)

Action

●好事例の横展開
●自発的活動

Check

●フォローアップ
●定量調査

このプログラムによる効果

- 職場構成員の意見を全体的に把握するよい機会になる。
- 構成員に対してエンパワーメントする機会になる。これを通して人材育成が可能になる。
- 構成員同志の相互理解が進むことで、職場内のチームワークや一体感が深まる。
- 構成員からの提案を採用し実施することで、管理監督者への信頼が増し、職場運営が行いやすくなる。
- 結果、職場の生産性向上に結びつく。

ikiiki
Workplace
いきいき
職場

Performance
生産性向上

プログラムの目標

プログラムの流れ

※一部、ワークショップ=WSと表記しています

貴社スタッフが中心になって
実施いただきたいこと

フォーラムが提供するサービス

準備

現状分析

【調査の実施】

職場の現状を調査ツール等で客観的に把握し、結果をワークショップに活用できると効果的です。

【調査サービスの実施】

新職業性ストレス簡易調査票、JMI心の健康調査、組織パフォーマンスサーベイ(RAPs)などを活用し調査の実施・分析および結果報告などをお手伝いいたします。

※オプションA

E-learning

【事前説明】

貴社スタッフから社員に対してワークショッププログラムの導入について目的などを簡単にご説明ください。

【Eラーニングのご提供】

プログラムの説明をEラーニングで展開することが可能です。Eラーニングの制作および実施を請け負ってお手伝いいたします。

※オプションB

管理職意識調査

実施なしでもプログラム
に影響はありません

【管理職意識調査の実施と分析】

管理職を対象にしたアンケート調査を実施します。いきいき職場づくりに対する意識を分析することで、管理職説明会やWS後のアクションプラン実施の効果が増します。

※オプションC

実践

管理職対象の説明会

【管理職説明会の準備】

管理職説明会をご設定をください。できるだけ関わる方全員のご出席をお願いします。管理職の関わり方一つでWSの成否が大きく分かります。

【管理職対象説明会の講師派遣】

管理職への説明および研修会の実施などをお手伝いします。同時に健康いきいき職場づくりマネジメント研修なども組み込むことができます。

必須プログラム

従業員参加型ワークショップ

【ワークショップの準備】

ワークショップ実施主体となる職場を選定いただき、実施概要(日程、時間、人数、会場等)の調整をお願いいたします。

【ワークショップファシリテーター派遣】

ワークショップのファシリテーターを派遣します。職場メンバーのグループワーク・管理職同席の発表・行動計画策定などに対応します。

必須プログラム

フォローアップ

【アクションプランのフォローアップ】

中間報告会や活動報告会などを実施しながら、行動計画の進捗フォローをお願いします。

【フォローアップの支援】

フォローアッププログラムとして、行動計画の実践に伴う困難なども伺い、実施担当者へのカウンセリング的対応を含めて活動を支援します。

※オプションD

好事例の横展開
自発的活動

※このプログラムは、参加型ワークショップを中心に、組織内の健康いきいき職場づくりを、マネジメントサイクル(PDCA)で回していく活動です。プログラムはその一連の流れの各ステップを提供します(有料サービスです)。「オプションA~D」は各組織の必要に応じて要・不要のご相談を承ります。実施希望プログラム、規模等により、費用をお見積り致します。

【重要です】プログラム実施においてご留意いただきたいこと

- ・管理職の方には必ず事前説明会にご参加いただき、活動へのご理解をいただきます。
- ・ワークショップ実施に際しては職場メンバーの全員に近い方が参加されることが望ましいです。メンバーの半分程度の参加では活動は成功しません(メンバーに囑託、パート、アルバイト等の非正規社員の方も含まれることが望ましいですが、含めるかどうかは別途ご相談によります)。
- ・ワークショップは職場の「良いところ」「伸ばしたいところ」、また「働きたい職場とは何か」を中心に検討します。問題点の発見、問題解決の手法とは異なることを予めご了承ください。

主な提供サービスの具体的内容

調査サービスの実施:WS実施前に、社員調査を実施するサービスです。現状把握とともに、WS実施後の効果を測定するために重要です。調査サービスを利用されない場合も、貴社独自に実施された調査がある場合、可能な範囲でデータ提供をお願いします。

※オプションA

管理職対象説明会の講師派遣:管理職への事前説明を行うサービスです。取組の位置づけや意義、目的、手法、WSにおける管理職としての役割、やってはならないことなど留意点をお伝えします(所要時間:1時間〜)。また、WSに関するだけでなく、マネジメント研修の要素を入れ、管理職としての役割認識、部下育成、コーチングスキル等を学ぶプログラムも可能です(所要時間:3時間〜)。

※必須プログラム

ワークショップファシリテーター派遣:WSのファシリテーターを派遣するサービスです。WS当日はファシリテーターの進行により、この取組の意義、目的等の共有、グループワークを行います(管理職の方は同席しません)。グループワークでは、目指したい職場像についてまず全員の意見を出し合い、それに対して今の職場ができていて、さらに良くなりたいことについて話し合います。そして、そのために具体的に何を実施するか、アイデアを出し合います。グループの発表から管理職も参加し、全体共有をし、自職場の行動計画(アクションプラン)を絞り込みます(所要時間2時間半〜)。出された行動計画について担当者が選任され、後日実行に移していきます。

※必須プログラム

本プログラムは、日本生産性本部カウンセリングマネジメントセンター(CMC)に所属する、マネジメント専門の講師陣によって運営されます。

CMC(Counseling Management Center)

カウンセリングマネジメントとは、カウンセリングの持つ機能を日常の職場におけるマネジメントに活かし、人材の育成と組織風土の変革を図るスキル体系です。CMCは、2002年に設立され、組織に籍を置く人たちが心身ともに健康な状態で活躍できる「場」を築き、組織の活力を向上させることを活動の目的に活動しています。活動内容として、人材育成のマネジメントやコミュニケーション向上、職場のメンタルケアマネジメントに関する教育プログラムの開発等、各種研修やセミナー、研究会を実施しています。

フォローアップの支援:行動計画(アクションプラン)の進捗をフォローアップするサービスです。各行動計画の担当者に選任された方を対象に、外部の目から、行動計画の進捗を確認したり、実施に当たっての困難等に対してアドバイスします。WSの1か月〜3か月後までの実施が基本です(所要時間:1時間〜)。全体のフォローは、半年〜1年後をめどに、事前に実施しているものと同様のアンケートで効果測定を実施した上で行います。

※オプションD

実施企業担当者の声

株式会社フジクラ

人事総務部 健康経営推進室 副室長 浅野健一郎 様

最初にこのワークショップ(以下WS)の手法を学んだとき、とても普通のことに見え、研修慣れ(疲れ?)している現代の社員にこの手のWSが本当に効果を出せるのだろうか?と半分疑問もあったが、実際に実施してこの疑問が愚問であったことが分かった。つまり結果は大成功。その要因を後から考えると、今の職場で欠けている要素が緻密に計算されWSの設計に盛り込まれているのである。キーワードは「内発」「自律」「社会性」。これらの要素がブレイクダウンされWSの各プロセスにちりばめられている。一方で、WSの進め方を間違えるとこれらの効果を逸するだけでなく、負に作用する危険性もあるので、日本生産性本部で標準プログラム化されたことはとても喜ばしく、今後このWSが様々な職場で実践され、健康でいきいきとした職場が増え、日本がいきいきとした社会になることを期待しています。



西日本旅客鉄道株式会社

広島健康増進センター 保健師 戸政裕美 様

最初「今よりもっといきいき職場」をテーマに、働きやすい職場の姿・職場の強み・より良くするための工夫についてワークショップを行いました。どんな意見も否定しないルールを前提に、社員同士が職場環境やコミュニケーション等、様々な視点で職場の現状やありたい姿について、自由闊達に話し合うことが出来ました。その結果、建設的で主体的な取り組みを考えることができ、有意義な活動だと実感しています。今後は、社員主体でワークショップを行い、現場力を高められるような方法を工夫する他、この取り組みが各職場に広まり、全体のいきいき度を高めるきっかけになるよう、関連部門や職場との連携を大切にし、継続発展させたいと考えています。





健康いきいき職場づくり「参加型ワークショッププログラム」にご興味のある方は、担当より詳細のご説明を申し上げます。以下シートにご記入いただき、FAX送信してください。追って担当よりご連絡申し上げます。

下記の個人情報保護方針に同意した上で問い合わせます。

お客様情報

組織名		
ご担当者様お名前	ご所属	お役職
ご住所 〒 -		
ご連絡先お電話番号 -	FAX番号 -	
E-mail	@	
従業員数	人	業種
健康いきいき職場づくりフォーラム会員ですか？ ☐ はい ☐ いいえ		
健康いきいき職場づくりフォーラムメルマガを配信しています。不要の方はチェックしてください。 ☐ 不要		

お問い合わせ内容

◆ご検討段階についてお聞かせください(項目にチェックしてください)

- ☐ ワークショップ実施を考えているので費用の見積もりをしてほしい
☐ ワークショッププログラムに興味があるので話を聞きたい
☐ 健康いきいき職場づくりに興味があるので話をききたい
☐ メンタルヘルスケアの管理職研修を検討したい
☐ その他()

◆ご検討内容についてよろしければ詳しくお聞かせください(ご自由にご記入ください)

ホームページ URL

<http://www.ikiiki-wp.jp>

お問い合わせ

「健康いきいき職場づくりフォーラム」事務局

公益財団法人 日本生産性本部

ヘルスケアマネジメントセンター内

住所 〒 150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1

TEL 03-3409-1127 FAX 03-3797-7214

個人情報保護方針

下記の「個人情報の取り扱い」について同意した上で問い合わせます。

- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、日本生産性本部ホームページ(<http://www.jpc-net.jp/>)をご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申しいただきますようお願いいたします。
- 個人情報は、『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関わる資料等の作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
- 『健康いきいき職場づくりフォーラム』の実施に関して必要な範囲で資料を作成し、当日講師等の関係者に限り配布させていただきます。但し前述の場合および法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
- 案内状や参加証、テキストの送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
- ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、健康いきいき職場づくりフォーラム事務局（TEL 03-3409-1127）または日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口（TEL 03-3409-1112）までお問合せください。【責任者：個人情報保護管理者（総務部長）】
- お申込書に個人情報を記入するかどうかはご本人の自由です。ただし、必要な個人情報が不足していた場合は、当本部からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。